

科 目	必・選	担 当 教 員	学 年 ・ 専 攻	単 位 数	授 業 形 態																																							
時事英語 (Current English)	必	森岡 隆	1 年 生 メカトロニクス専攻 エコシステム専攻	学修単位 2	前 期 週 2 時 間																																							
授業概要	① 英字新聞や雑誌の読解を通して、英語読解能力の向上を図りながら、現代の日本と世界の動きを学ぶ。 ② TOEIC 関連教科書による演習を通して「聞く」「読む」の実践的英語力の養成に努める。 ③ TOEIC の団体特別受験 (IP) を実施して個々の英語力の把握と向上に役立てる。																																											
到達目標	① 英字新聞の記事を、辞書の助けを借りながら、すばやく要点を理解できるようにする。 ② TOEICテストにおいて、日常生活のコミュニケーションでおおよそのニーズを充足するレベルの得点を取得する。 ③ 現代の日本と世界の政治・経済・科学の動きについて一般的な理解ができる。																																											
評価方法	試験 60%、小テストおよび課題 40% なお、TOEICのIP試験や公開試験で400点以上取得した場合は、点数に応じて評価に加算する。																																											
教科書等	① 木下善貞、江口雅子、Adam Hailes 著 <i>News Gallery 2017</i> (開文社) ② 各種英字新聞やインターネットの記事をプリントして使用する。																																											
内 容	(1回の自宅演習は260分を目処にする。)				学習・教育目標																																							
第 1 回	オリエンテーション、Headlineの説明と演習、Leadの説明と演習	(自宅演習)	D																																									
第 2 回	Chapter 1 : 本文	(自宅演習)	D																																									
第 3 回	Chapter 1 : 練習問題 1	(自宅演習)	D																																									
第 4 回	Chapter 1 : 練習問題 2	(自宅演習)	D																																									
第 5 回	Chapter 3 : 本文	(自宅演習)	D																																									
第 6 回	Chapter 3 : 練習問題 1	(自宅演習)	D																																									
第 7 回	Chapter 3 : 練習問題 2	(自宅演習)	D																																									
第 8 回	Chapter 6 : 本文	(自宅演習)	D																																									
第 9 回	Chapter 6 : 練習問題 1	(自宅演習)	D																																									
第10回	Chapter 6 : 練習問題 2. 1.	(自宅演習)	D																																									
第11回	Chapter 6 : 練習問題 2. 2.	(自宅演習)	D																																									
第12回	<TOEIC IP 受験>	(自宅演習)	D																																									
第13回	Chapter 12 : 本文	(自宅演習)	D																																									
第14回	Chapter 12 : 練習問題 1	(自宅演習)	D																																									
第15回	Chapter 12 : 練習問題 2	(自宅演習)	D																																									
(特記事項)	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">JABEE と の 関 連</th> <th>a</th> <th>b</th> <th>c</th> <th>d1</th> <th>d2a)d</th> <th>d2b)c</th> <th>e</th> <th>f</th> <th>g</th> <th>h</th> <th>i</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本校の学習</td> <td>A</td> <td>A</td> <td>C-1</td> <td>C-1</td> <td>C-2</td> <td>B</td> <td>B</td> <td>D</td> <td>C-3</td> <td>B</td> <td>B</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・教育目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					JABEE と の 関 連		a	b	c	d1	d2a)d	d2b)c	e	f	g	h	i	本校の学習	A	A	C-1	C-1	C-2	B	B	D	C-3	B	B		・教育目標								○				
JABEE と の 関 連		a	b	c	d1	d2a)d	d2b)c	e	f	g	h	i																																
本校の学習	A	A	C-1	C-1	C-2	B	B	D	C-3	B	B																																	
・教育目標								○																																				

1. 合格ラインについて、特に記載の無いものは、60点以上を合格とします。

時事英語 Current English ガイダンス

事前学習

授業前には、できる限り全英文を和訳してくる。

事後学習

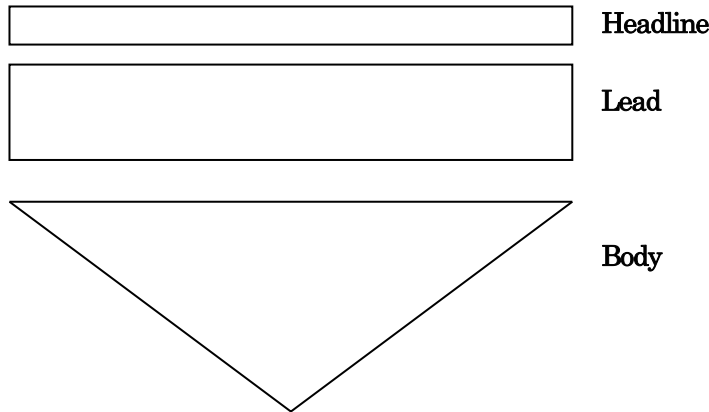
その日に学んだことを復習する。ノートと教科書を活用して、重要単語やフレーズにも注意すること。

News Storyの構成

新聞ニュースの記事は、**Headline** (見出し)、**Lead** (前文)、および**Body** (本文)の3つからできている。

Headline見出しは読者の注意を引くもので、簡潔な表現を求めて、いくつか特徴的な表現が用いられている。

Leadは、記事全体を要約する。



Bodyは「逆三角形」の構成をしていて、より重要な内容が先に書かれている。すなわち、途中で読むのを止めても、ある程度重要な内容は頭に残るというわけである。

Headlineの特徴

読者の注意を引くため、省略と短縮化が最も多く使われる部分である。

1. 冠詞は、原則として省略される。

(A) Long-lost wallet returns to *(its)* owner (長く失われていた財布が持ち主に戻る)

2. Be動詞は、原則として省略される。

1) 進行形の“be 動詞+現在分詞”のbe 動詞が省略される。

McDonald's *(is)* investing in Russia (マクドナルド、ロシアに投資)

2) 受動態の“be 動詞+過去分詞”のbe 動詞が省略される。

43 *(are)* killed in *(a)* plane crash (墜落事故で43人死亡)

3) 予定・近未来を表す“be going to”のうち“be going”は省略される。つまり、不定詞は、予定や未来を表すのに使われているのである。

Noda *(is going)* to visit US in May (野田首相、5月に訪米)

3. 現在形は、通常、過去(あるいは現在完了)を表す。

Hakuho wins (← *won*) Kyushu tournament (白鵬、九州場所優勝)

4. コンマは、接続詞 (and) の代用

Japan, Tonga sign agreement [← Japan *and* Tonga ...] (日本とトンガ、協定に調印)

5. 略語の多用

IMF [International Monetary Fund] (国際通貨基金)

NATO [North Atlantic Treaty Organization] (北大西洋条約機構)

6. 短縮形の多用

Gov't (またはGovt) [Government] (政府) N. Korea [North Korea] (北朝鮮)

LeadとBodyの特徴

Leadは、記事全体を要約するもので、5W1H (When, Where, Who, What, Why, How) の要素の全てが必要なものが、要領良くまとめられている。それを探して読むようにすれば記事のおおよその内容が把握できる。

Bodyが、より大事なことから始めて徐々に細かい点に移っていくということは上で述べたが、各段落の中でも、「内容の要約・要点⇒補足説明」が原則になっている。読者にまず結論を伝えるのが新聞の基本姿勢なのである。